

タマネギ(野菜類、鱗茎類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	使用条件	白色疫病	灰色腐敗病	苗立枯病	灰色かび病	黒かび病	小菌核病	黒腐核病	紅色根腐病	黒斑病	さび病	乾腐病	軟腐病	腐敗病	りん片腐敗病
クプロシールドFL	M1		-	-															◎
コサイド3000DF	M1		-	-													◎		◎
ドイツボルドーA水	M1		-	-		◎													
ベニドー水	M1		-	-													◎		
フジドーLFL	M1		-	-												◎			◎
スターナ水	31		7	5													◎		◎
トップジンM水㊟	1		1 *b	*c			◎				◎								
トップジンMゾル㊟	1		1 1	5 6			◎		◎	◎									
ベンレート水㊟	1		*a *d *e	1	☆												◎ ◎ ◎		
ハチハチ乳	39	劇	1	2		◎													
アフエットFL	7		1	4			◎		◎		◎	◎							
カナメFL	7	劇	1	4			◎		◎	◎	◎								
カンタスDF	7		1	3			◎		◎	◎	◎								
ケンジャFL	7		3	4					◎	◎	◎								
パレード20FL	7		1	3			◎		◎	◎	◎	◎							
ミリオネアFL	7	劇	1	4			◎		◎	◎	◎								
アミスター20FL	11		1	4		◎	◎		◎										
スクレアFL	11		1	3			◎		◎		◎								
ストロビアFL	11		14	3			◎		◎										
ファンタジスタ顆水	11		1 *h	5 1			◎		◎		◎								
メジャーFL	11		1	3		◎	◎		◎	◎	◎								
ランマンFL	21		7	4		◎	◎												
フロンサイドSC	29		3 *b	5 1		◎	◎	◎	◎								◎		
フロンサイド粉	29		*e	1								◎	◎						
セイビアールFL20	12		1 *b	3 1			◎		◎		◎		◎						
スミレックス水	2		1	5			◎		◎		◎								
ロブラール水	2		7	3			◎		◎					◎					
リゾレックス粉	14		*f	1				®											
オンリーワンFL	3		1 *b *e	3 1			◎		◎									◎ ◎	
トリフミン水	3		*b *e	1	☆												◎ ◎		
ポリオキシリンAL水	19		3	5					◎		◎								
レーバスFL	40		1	2		◎	◎												
バリダシン液5	U18		3	5													◎	◎	
キノンドー水40	M1		14	3														◎	
ヨネボン水	M1		7	5		◎			◎									◎	
ジマンダイセン水	M3		3	5		◎	◎	◎	◎					◎	◎				
ペンコゼブ水	M3		3	5		◎			◎					◎			◎		

タマネギ(野菜類、鱗茎類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	使用条	ベと疫	白病	灰色腐敗	苗立枯	灰色かび	黒かび	小菌核	黒腐核	紅色根腐	黒斑	さび	乾腐	軟腐	腐敗	りん片腐敗
オーソサイド水80	M4		1	5			◎		◎	◎									◎	
ダコニール1000FL	M5		7	6			◎	◎		◎										
ベルコートFL	M7		1	5					◎	◎		◎								
リドミルゴールドMZ顆水	M3・4		7	3			◎	◎	◎	◎										
フオリオゴールドFL	4・M5		7	3			◎	◎		◎										
カセツ水	31・24		7	5														◎		
マテリーナ水	31・25		7	5														◎		
ナレート水	31・M1		14	3			◎											◎		
ゲッター水㊟	1・10		7	5				◎												
ニマイパー水㊟	1・10		7	5				◎		◎										
アタッキン水㊟	1・25		7	5				◎										◎		
スミブレンド水	10・2		7	5						◎										
ジャストフィットFL	43・40		7	3			◎	◎												
シグナムWDG	7・11		*b	1				◎												
			7	3			◎	◎	◎	◎		◎								
オルフィンプラスFL	7・3		1	3				◎	◎	◎		◎								
ベジセイバーFL	7・M5		7	4			◎	◎	◎	◎		◎								
ホライズンDF	11・27		3	3			◎	◎												
アミスターオブティFL	11・M5		7	4			◎			◎										
ゾーベックエンテクトSE	21・49		7	2			◎													
ドーシャスFL	21・M5		7	4			◎			◎										
スイッチ顆水	9・12		1	3						◎										
カスミンバリダシン液	24・U18		7	5														◎		
カスミンボルドー水	24・M1		7	5														◎		
アグリマイシン-100水	25・41		7	5														◎		
ジャストミート顆水	12・17		1	3						◎										
ベトファイター顆水	40・27		7	3			◎	◎												
カンパネラ水							◎	◎												
ベネセット水	40・M3		7	3			◎	◎												
カーニバル水	40・M5		7	3			◎	◎		◎										
プロボーズ顆水	40・M5		7	3			◎	◎		◎										
カーゼートPZ水	27・M3		3	3			◎	◎												
ブリザード水	27・5		7	3			◎	◎		◎										

㊟:オファネートフル含有剤 ◎:ベニル含有剤 ㊟を使用した場合には同じ作での◎は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理および塗布処理を除く、詳細はP.856参照)。*a:移植直前3分間苗根部浸漬 *b:定植直前 *c:6回以内(但し定植後は5回以内)

*d:播種前(育苗培土混和) *e:定植前 *f:播種前 *h:定植直前(5分間苗根部浸漬、または5分間セル苗浸漬)

㊟:リゾクトニア菌による病害

☆:セル成型育苗トレイまたはペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用方法は、土耕栽培による苗には使用できない。

タマネギ(野菜類、鱗茎類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア ザ ミ ウ マ 類	ア ブ ラ ム シ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	タ マ ネ ギ バ エ	タ ネ バ エ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ	ネ ギ コ ガ	ネ キ リ ム シ	コ ガ ネ ム シ	ケ ラ	コ オ ロ ギ
オルトラン水	1B		21	5		ギ		ネ									
サイアノックス乳	1B		14	3		◎											
ジェイエース溶	1B		21	5		ギ											
ショットガン乳	1B	劇	21	2		ギ											
スミチオン乳	1B		21	2		◎	◎										
ダーズバン乳40	1B	劇	21	2		ギ		ネ									
ダイアジノン乳40	1B	劇	21	2		◎	◎	ネ	◎								
ダイアジノン粒 5	1B		*a 30	2					◎	◎						幼	◎
マラソン乳	1B		7	6		◎	◎	◎									
アグロスリン水	3A	劇	7	5		◎											
アグロスリン乳	3A	劇	7	5		◎		ネ				◎					
アディオソ乳	3A		7	5		◎					◎		◎				
ガードベイトA粒	3A		*b 5	5										◎			
スカウトFL	3A	劇	1	5		ギ								◎			
ゲットアウトWDG	3A	劇	7	5		◎		ネ									
ペイオフME液	3A	劇	14	4		ギ											
マブリックEW	3A	劇	7	2		ギ											
アドマイヤー顆水	4A	劇	*d 14	1 2	☆	◎											
ベストガード溶	4A		1	2		ギ											
モスピラン顆溶	4A	劇	7	3		◎											
ディアナSC	5		1	2		◎		ネ			◎	◎					
アグリメック乳	6	劇	14	2		◎		ネ									
アニキ乳	6		1	3							◎	◎					
コルト顆水	9B		1	3		ギ		ネ									
パダンSG溶	14	劇	1	3		◎		◎									
リーフガード顆水	14	劇	3	3		ギ		ネ									
カスケード乳	15		3	3		ギ		ネ									
ハチハチ乳	21A	劇	1	2		◎		ネ									
アクセルベイト粒	22B		1	3										◎			
ベネビアOD	28		14	3		◎		◎			◎	◎					
ウララDF	29		7	2		ギ											
グレーシア乳	30		7	2		ギ		ネ									
ファインセーブFL	34	劇	3	3		◎											
ブレオFL	UN		3	2		ギ					◎	◎					
ビリーブ水	3A・15	劇	7	3		ギ											

*a:播種時又は定植時 *b:定植前 *c:生育初期 *d:定植前日～定植時

ギ:ネギアザミウマ ネ:ネギハモグリバエ 幼:幼虫

☆:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用法は、土耕栽培による苗には使用できない。

タマネギ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	- 雨よけ栽培を行う。 - 発生初期から次の薬剤のいずれかを散布する。 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 ダコニール1000 (FL) 1000倍 プロボース顆粒水和剤 1000倍 ホライズンドライフフロアブル 2500倍 リドミルゴールドMZ (顆水) ● 500～1000倍 - 全身感染している株は、早期に抜きとり処分する。	ネギの同項目参照 ●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。
	収穫後	・枯死葉などの伝染源を畑に残さない。	
黒斑病	生育期	- 肥料切れすると発生しやすいので、肥培管理に注意する。 - 発生前から次の薬剤のいずれかを散布する。 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 ペンコゼブ水和剤 400～600倍 ロブラール水和剤 1000倍	ネギの同項目参照
	収穫後	・枯死葉などの伝染源を残さないようにする。	
萎縮病	播種前	・ネギ畑の近くに苗床を設けない。	
	苗床期	・苗床中の被害株は見つけ次第すみやかに抜きとる。	
	定植期	・アブラムシ類の項を参考にアブラムシ類を防除する。	
灰色腐敗病	播種前	・有色種を栽培する。	収穫期(4月下旬)に多雨のときや貯蔵中に発生が多い。白色種に発生多く、有色種に少ない。有色種も有色の外皮をはぐと感染しやすくなる。
	生育期	・発生期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 スミレックス水和剤 1000倍 セイビアーフロアブル20 1500倍 ベルコートフロアブル 1000倍	
	収穫期・貯蔵中	- 晴天の日に球を傷つけないように収穫し、よく乾燥させて冷風で風通しのよい所に貯蔵する。 - 貯蔵中の発病球はすみやかにとり除く。	

タマネギ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
さび病	生育期	・発生を認めたら、初期に次の薬剤を散布する。 ジマンダイセン水和剤 400～600倍	春季に雨が多いときに多発しやすい。
アブラムシ類		1. 寒冷紗による被覆育苗を行う(春まきでは発芽揃～6月上旬、秋まきでは発芽揃～12月中旬)。 2. シルバーテープを設置してアブラムシ有翅虫の飛来を防ぐ。 3. 次の薬剤のいずれかを散布する。 ダイアジノン乳剤40 1000倍 マラソン乳剤 1000～3000倍	
ネギアザミウマ	生育期	1. 反射性マルチを使用する。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 ディアナSC# 2500～5000倍 ビリープ水和剤 1500倍 マブリックEW 3000～4000倍 モスピラン顆粒水溶剤# 2000倍	#アザミウマ類での登録
タマネギバエ・タネバエ	播種時または定植時	・次の薬剤を散布する。 ダイアジノン粒剤5 3～5kg/10a	作付前は、全面又は作条に散布し、土壌混和する。 作物生育中は、作条処理して軽く覆土する。